



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2024年3月期第1四半期 決算説明資料

2023年8月7日

株式会社ケアサービス
(東証スタンダード 2425)

2024年3月期 第1四半期 決算概要

- 売上高： 対前年同四半期比 3.6%増収
- 営業利益： 同 16.9%増益
- 経常利益： 同 20.3%増益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 55.7%減益

(百万円)	2023年3月期1Q(連結)		2024年3月期1Q(連結)		対前年同四半期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	2,257	100.0%	2,337	100.0%	80	3.6%
売上総利益	245	10.9%	231	9.9%	△ 14	-5.7%
販売費及び一般管理費	208	9.2%	188	8.1%	△ 20	-9.7%
営業利益	36	1.6%	42	1.8%	6	16.9%
経常利益	37	1.6%	44	1.9%	7	20.3%
特別利益 *	61	2.7%	0	0.0%	△ 61	-
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	53	2.4%	23	1.0%	△ 29	-55.7%

*事業所閉鎖による

2024年3月期 第1四半期 事業別業績概要

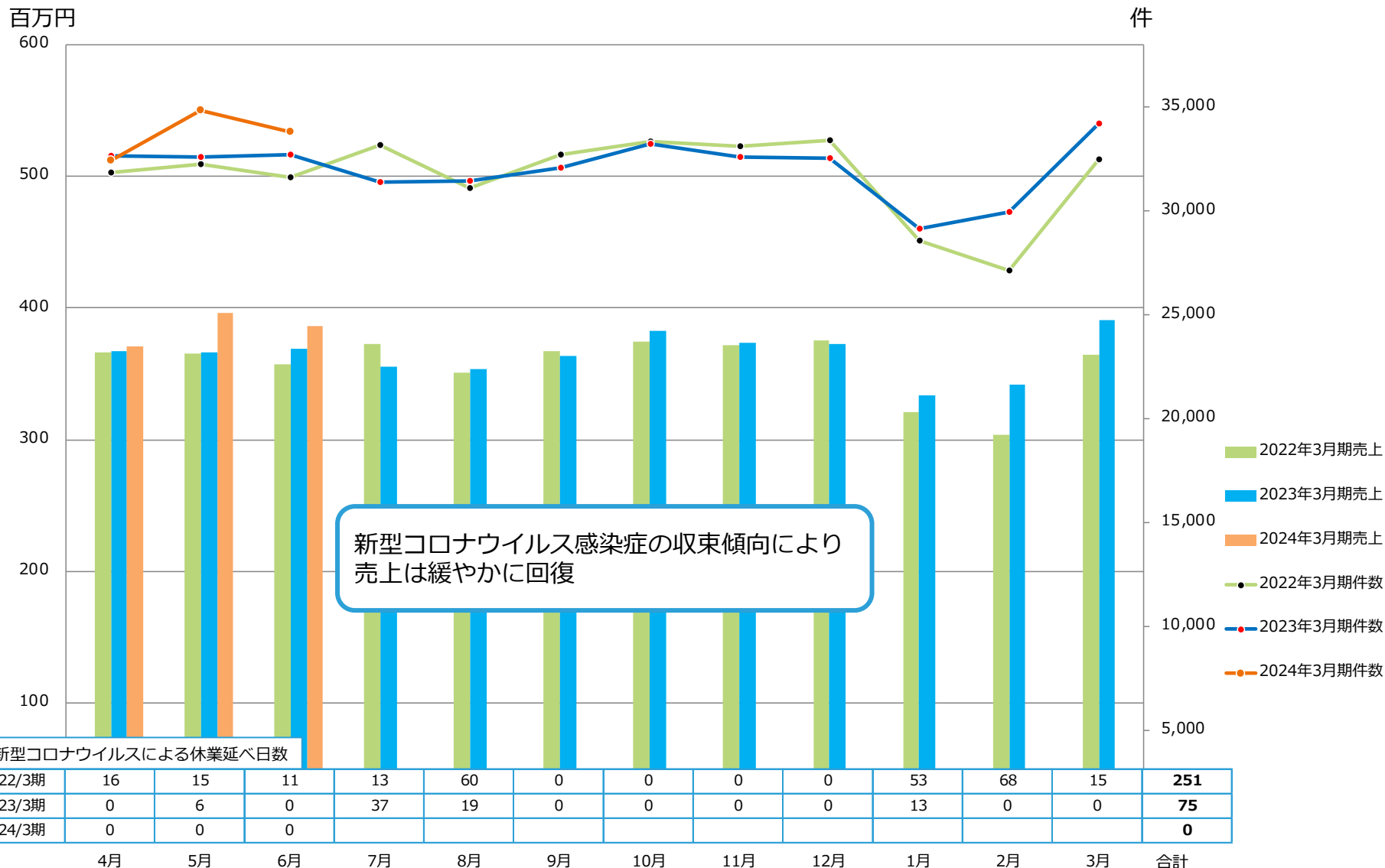
- 在宅介護サービス : 対前年同四半期比 3.5%増収 14.1%減益
- シニア向け総合サービス : 同 3.7%増収 8.2%増益

(百万円)	2023年3月期1Q(連結)		2024年3月期1Q(連結)		対前年同四半期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	2,257	100.0%	2,337	100.0%	80	3.6%
在宅介護サービス	1,680	74.5%	1,740	74.4%	59	3.5%
シニア向け総合サービス	576	25.5%	597	25.6%	21	3.7%
セグメント利益	220	9.8%	210	9.0%	△ 10	-4.6%
在宅介護サービス	127	7.6%	109	6.3%	△ 17	-14.1%
シニア向け総合サービス	93	16.1%	100	16.9%	7	8.2%
調整額	△ 183	-8.1%	△ 167	-7.2%	16	—
営業利益	36	1.6%	42	1.8%	6	16.9%

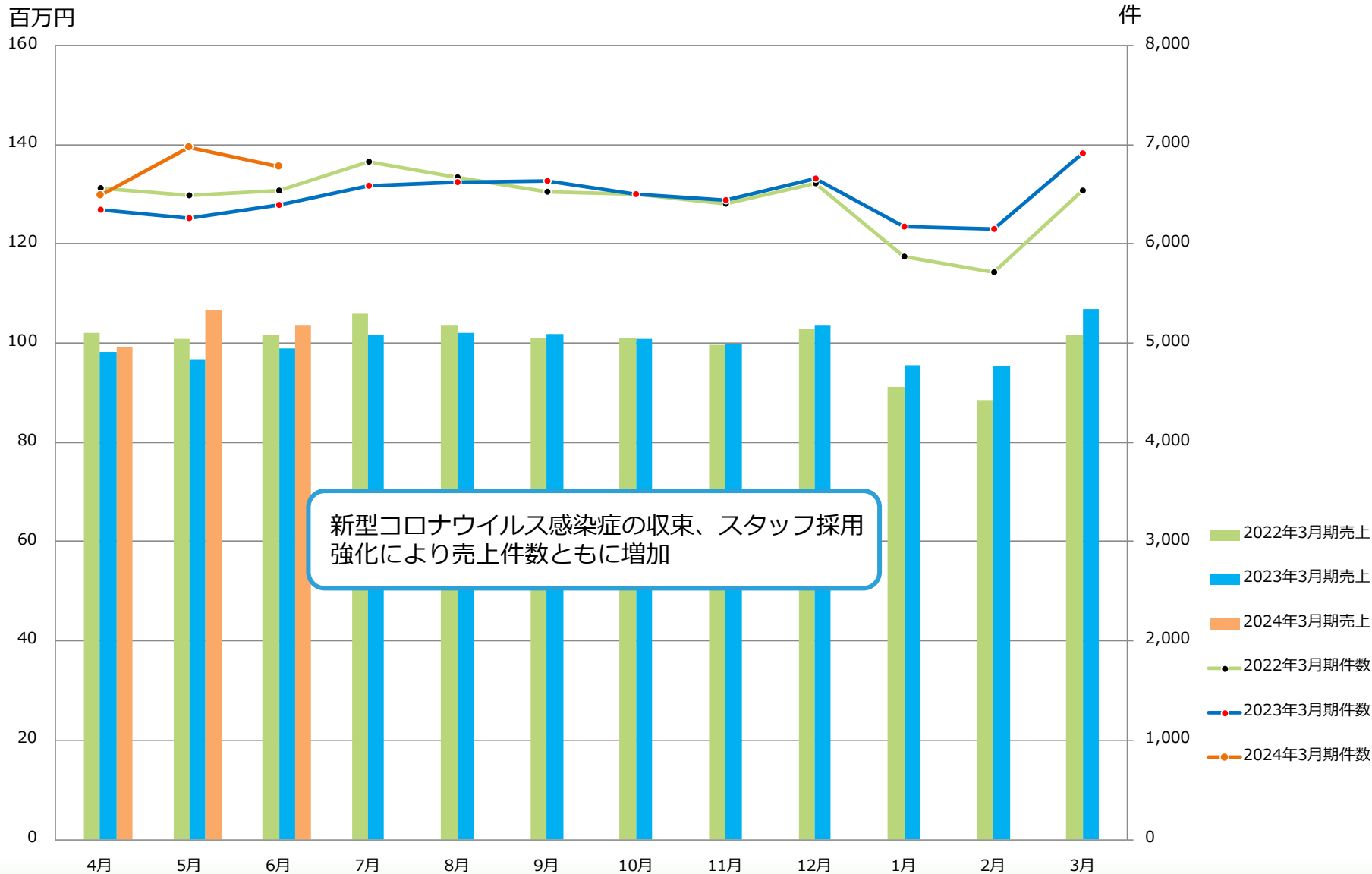
サービス別売上推移

(百万円)	2022年3月期1Q		2023年3月期1Q		2024年3月期1Q	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
在宅介護サービス事業	1,652	74.9%	1,680	74.5%	1,740	74.5%
デイサービス	1,087	49.3%	1,103	48.9%	1,153	49.3%
訪問入浴	304	13.8%	293	13.0%	309	13.2%
居宅介護支援	97	4.4%	106	4.7%	106	4.5%
訪問看護	34	1.5%	40	1.8%	26	1.1%
その他	129	5.8%	136	6.0%	144	6.2%
シニア向け総合サービス事業	554	25.1%	576	25.5%	597	25.5%
エンゼルケア	475	21.5%	503	22.3%	528	22.6%
クリーンサービス	49	2.2%	53	2.3%	42	1.8%
その他	29	1.3%	19	0.8%	26	1.1%
合計	2,206	100.0%	2,256	100.0%	2,337	100.0%

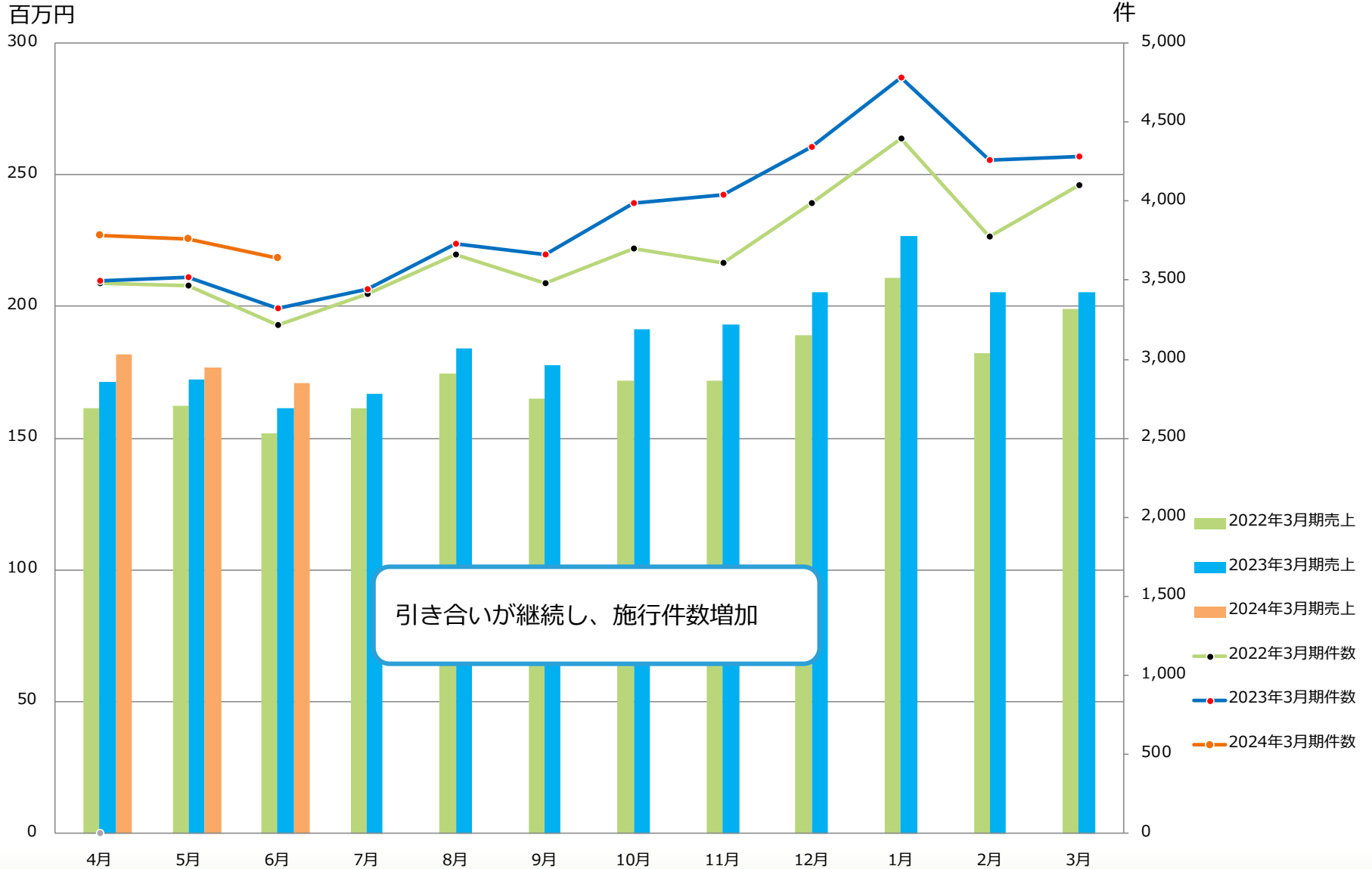
デイサービス（通所介護サービス）：売上高、件数の推移



訪問入浴サービス：売上高、件数の推移

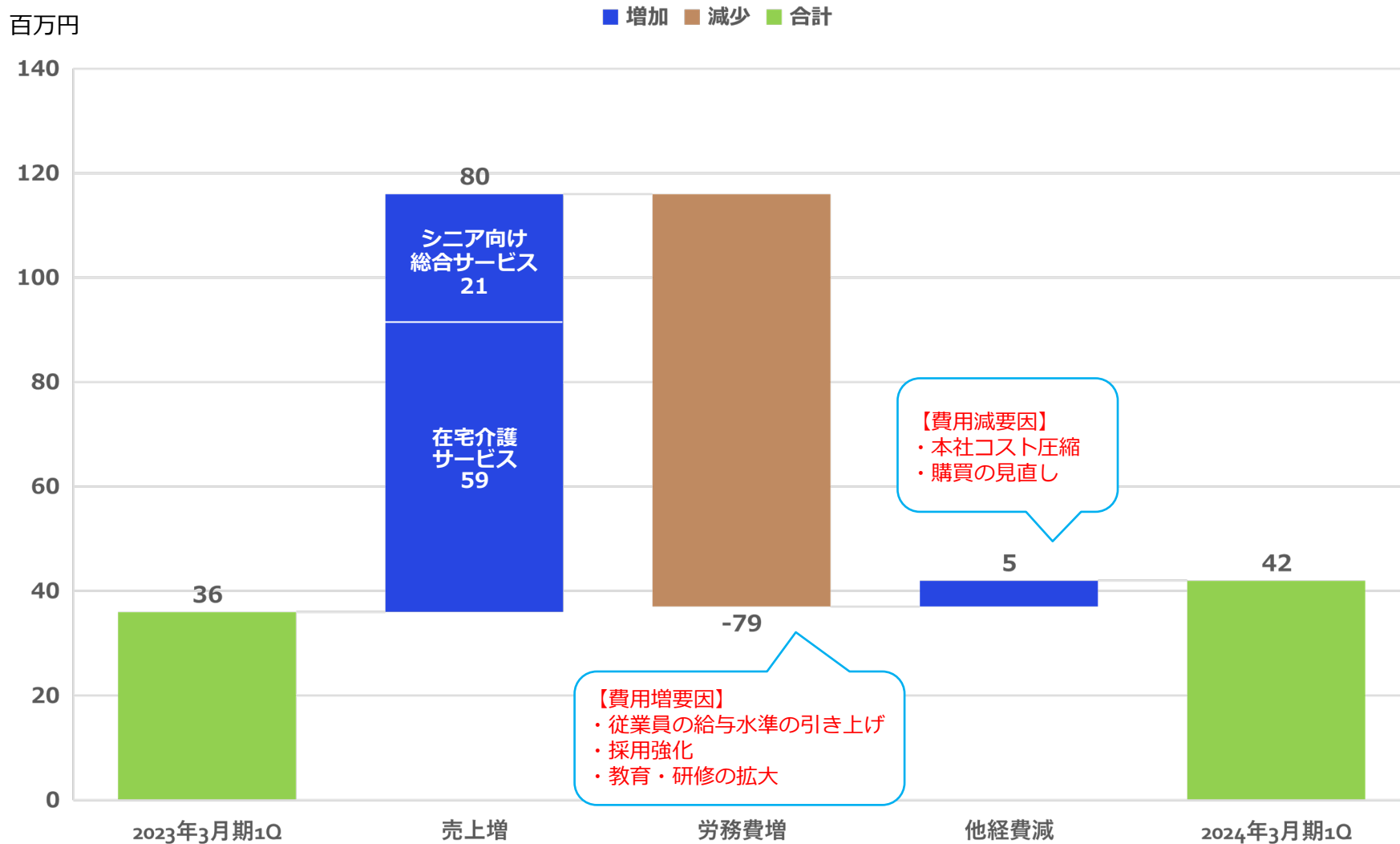


エンゼルケアサービス：売上高、件数の推移



引き合いが継続し、施行件数増加

営業利益の増減分析



【労務費】・・・増加

当期より、将来の介護職不足、サービス品質の向上に為に、労務関連への積極的な投資を行っております。

- ・ 新卒、中途採用人数の拡大。
採用地域を日本全国へ拡大、その為に都内中心に社宅の整備
- ・ 給与水準の引き上げ。
前期下半期より、サービス別に給与水準の底上げを実施、今後も全社的な給与水準の向上を目指し、人材確保に努める。
- ・ 教育・研修の拡大
サービス品質向上の為に研修内容の見直し拡充。
将来を担う、管理職の育成を実施。

【他経費】・・・微減

- ・ 昨年に続き、本社業務効率の改善を実施中、DX推進による費用の削減。

稼ぐ力をつける

大きく投資する

シニア向け
総合サービス業への進化

	～2024/3	～2027/3	～2033/3
テーマ	組織力・事業の再構築	絶対的な業界ポジション確立	新しい事業形態への進化
戦略・投資ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ①競争を勝ち切るビジネスモデル構築 ②フリーCF最大化に向けた財務体質強化 ③将来の成長に向けた従業員への投資・還元 	<ul style="list-style-type: none"> ①「規模×効率性」ドミナント活用によるビジネスモデル構築 ②介護報酬改定を見据えた既存事業の再定義と積極的拡大 <ul style="list-style-type: none"> ■既存事業の顧客基盤を活かした新規事業開発 ■海外展開展開 ■業務提携、M & A等 	<ul style="list-style-type: none"> ①介護保険外事業への発展と既存事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ■看護、医療、調剤との連携、融合 ■葬祭周辺業務多角化 ■海外事業拡大（東アジア圏、その他）

確実に進捗。今期は次の「大きく投資する」を前倒しで実行。

セグメント区分	所属サービス	子会社
<p>在宅介護サービス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービス ・ 訪問入浴 ・ 訪問介護 ・ 訪問看護 ・ 小規模多機能型居宅介護 ・ 居宅介護支援 ・ 福祉用具貸与・販売 ・ 配食サービス 	
<p>シニア向け 総合サービス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンゼルケア ・ クリーンサービス ・ シニア向け施設紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒューマンキャピタル ・ 上海福原

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス
MAIL:ir.info@care.co.jp
TEL 03-5753-1170